

海外で自衛隊に戦争をさせるな！

—東アジアの平和をどのようにつくっていくか

講師 **大内要三さん** (日本ジャーナリスト会議会員、元朝日新聞社)

集団的自衛権問題が注目されている背景には、中国と北朝鮮が何をするか分からない危険な国ではないか、という漠然とした恐怖感があるようです。では実際にはどのような脅威なのか、冷静に見る必要があります。そのためには、軍事的緊張の現実を見ることとともに、日本が19世紀の終わりから戦争を伴って大国になったことと、米国の意向によって領土問題が意識的に未解決にされてきたことの、歴史を振り返ることも大事でしょう。軍事力によらない国際問題の解決という日本国憲法の精神をどのように生かすかが、いま問われています。東アジアの平和をどのようにつくっていくか、参加の皆さんとともに考えます。

2014年7月19日(土)

午後6時30分～8時30分

石神井庁舎 5階第1～3会議室

資料代 300円

※当日の参加者には、大内さんにおまとめいただいた第2回「日米軍事同盟・・・」の講演詳報(A4・12ページ)をお分けいたします。通常のマスコミ報道では得られない日米などの軍事情報がコンパクトにまとめられております。小学習会にはうってつけの教材です。

大内要三氏プロフィール

1947年千葉県生まれ、日本ジャーナリスト会議会員、元朝日新聞社出版本部編集委員
著書『一日五厘の学校再建物語』2006年、『日米安保を読み解く東アジアの平和のために考えるべきこと』2010年、『日米安保は必要か？安保条約の条文を読んで見えてきたこと』2011年、(いずれも窓社)。『あたご事件 イージス艦・漁船衝突事件の全課程』(本の泉社)2014年

協賛 ねりま9条の会、練馬区職員労働組合、東京都教職員組合練馬支部、東京土建一般労働組合練馬支部
連絡先 田場 3991-9165 携帯 090-3238-9348

